**分科会研究課題・趣旨について**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【領域】・分科会 | | 研究課題 | 趣　　　　　　　　旨 |
| １ | 【学校経営】  経営、組織・  運営 | 目指す学校づくりと組織・運営の活性化 | 変化の激しい社会背景に伴い、学校が抱える今日的課題は複雑・多様化している。その中で、学校はその解決や未然防止・予防的な具体策の在り方を常に模索していくことが求められている。  本研究では、学年内教科担任制や交換授業等の「チームで子どもを支える取り組み」を通して、教職員一人一人が自分の役割を自覚し生き生きと経営に携わる学校づくりの在り方を探っていく。 |
| ２ | 【教育課程】  健やかな体 | 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進 | これからの社会を生きる児童にとって、健やかな心身の育成を図ることは極めて重要である。また、学校においては、児童の心と体を一体として捉え、主体的かつ積極的にスポーツに親しむ習慣や資質・能力を育成することが必要である。本研究では、全ての児童が生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できるよう、運動を「する」だけでなく、「みる」「支える」「知る」の多様な関わり方が可能となる教育課程を編成する。児童が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の素地を育てていくために、カリキュラム・マネジメントを通して校長が果たすべき役割を明らかにする。 |
| ３ | 【指導育成】  研究・研修 | 学校の教育力を高める研究・研修の推進 | ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う人づくりが求められている。そのためには、教員も自分の力を活かしつつ難しいことにも挑戦していくことが重要になる。そのような人材の育成のために、働き方改革や世代交代等の課題を解決しながら校長としてより現状に適した研究・研修の在り方を整えていくことを目的としている。 |
| ４ | 【危機管理】  学校安全 | 命を守る安全教育・防災教育の推進 | 各学校においては、子どもたちの安心・安全のために、これまで多様な対策を講じてきたが、近年の災害は想定外の規模で発生しており、こうした状況に対応した安全教育・防災教育も質的な改善が求められる。校長においては、教職員の安全教育・防災教育に関する資質・能力を向上させること、安全教育・防災教育の計画的・組織的な推進を図ることなどを通じて、子ども自身が自らの命を守るために「自ら判断し行動できる子ども」の育成を目指した安全教育・防災教育を、より一層推進していく役割や指導性が求められている。  　そこで、本研究においては、学校や地域の現状と課題を明らかにし、家庭・地域とも連携・協働した「自ら判断し行動できる子ども」を育てる安全教育・防災教育を推進するための校長の役割と指導性を明らかにしたいと考えた。 |
| ５ | 【教育課題】  社会との連携・協働 | 地域と共に学び支え合う連携・協働のあり方 | 新たな教育振興基本計画の基本方針の一つに「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」がある。また、第７次山形県教育振興計画では、「家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える」が、行動目標の１つとして示されている。  このように、地域との連携・協働は学校の発展に欠かせない要素となっている。それは、校長自らの深い理解と行動力にかかっている。 |